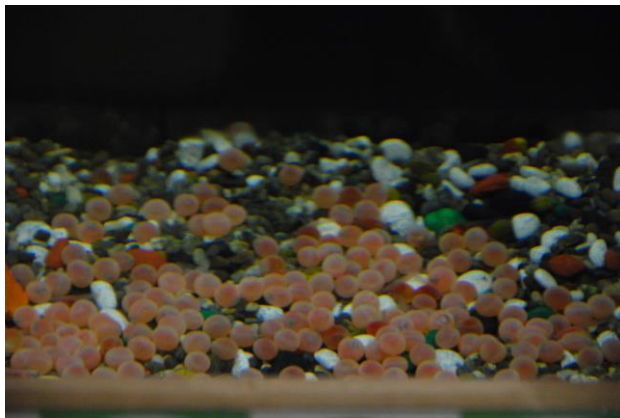


## 鮭飼育記～発眼卵から放流まで～

湯梨浜町役場では、東郷湖活性化プロジェクトの一環として、鮭の飼育放流プロジェクトに参加しています。



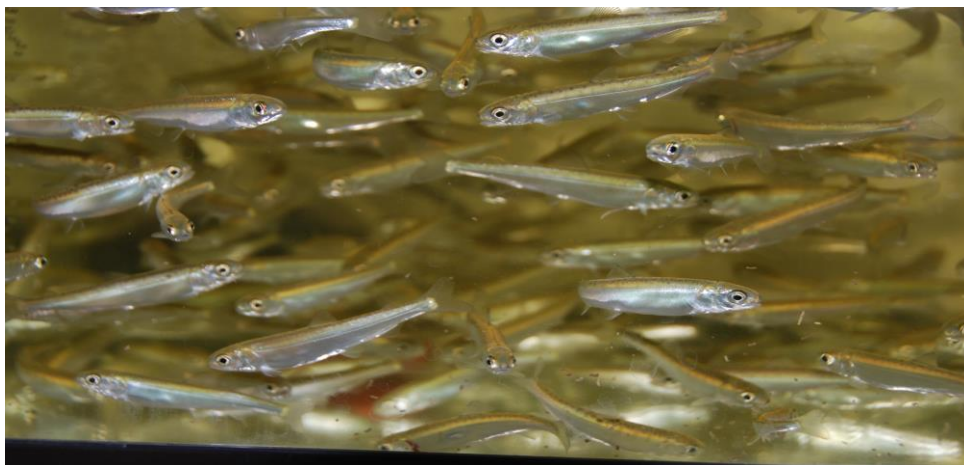
鮭の飼育放流プロジェクトとは、鮭の発眼卵（イクラの内部に稚魚の原型ができた状態の卵）から稚魚になるまで人の手で育て、東郷池や天神川などへ放流し、鮭が帰ってくる河川を残そうという取り組みです。

本年度も、12月14日に発眼卵を受け取り、湯梨浜町役場別館に水槽を設置して飼育しました。



孵化したばかりのころ、稚魚は底の方でじっとしていましたが、腹にある栄養袋（赤い部分）が小さくなるにつれて、浮上していき、水槽の中を悠々と泳ぎはじめました。

1月下旬ごろからはエサをよく食べ、時々水槽の外にまで水をはねさせるなど、元気に成長しました。



そして3月16日、めぐみのゆ公園にて、はわいこども園の園児たちによって、東郷池へ放流されました。鮭たちは、園児たちの「がんばれ！」という応援を受けて、東郷池へ泳いでいきました。



鮭は故郷の川へ戻ってくるまでの4年間に、川から海へ出て、アラスカ湾などの外国の海域まで回遊するそうです。人の親指くらいの大きさである稚魚たちにとっては、途方もなく長い旅ですが、何とか無事にもどってきてほしいものです。



戻ってきた鮭が産卵しやすいきれいな河川を保つため、ごみのポイ捨てなどをしないよう、ご協力をお願いします。